

- 平井 万紀子(まあいいかlaboきょうと代表)
5. 「AIで医療・介護革命、豊富なデータで最適な医療・介護を導き出す試み」
 座長：落合慈之(東京保健医療大学学事顧問/NTT東日本関東病院名誉院長)
 小林 裕(京都第二赤十字病院院長)
- (1) 「AI創薬ビッグデータ創薬」
 田中 博(東京医科歯科大学名誉教授)
- (2) 「日本のデータヘルス改革がめざすべき方向」
 森田 朗(津田塾大学総合政策学部教授)
- (3) 「内視鏡AIとビッグデータ」
 田中聖人(京都第二赤十字病院院長補佐)
- (4) 「健康医療福祉データを総合的に記録できる次世代電子カルテのあり方」
 大江和彦(東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻医療情報学教授)
- (5) 「AIを活用した医師・介護従事者向けの働き方改革」
 中山義人(株式会社NTTデータイントラマート代表取締役社長)
6. 「慢性疾患重症化予防・地域包括ケアにおけるICTの利活用」
 座長：平井愛山(一般社団法人日本慢性疾患重症化予防学会代表理事)
 中村隆志(社会福祉法人恩賜財団済生会滋賀県病院院長代行)
- (1) 「地域連携ネットワークを用いた、慢性疾患重症化予防の取り組み」
 平井愛山(一般社団法人日本慢性疾患重症化予防学会代表理事)
- (2) 「びわ湖あさがおネットを用いた医療・介護・リハビリ連携 -動画の活用-」
 本多朋仁(医療法人かおり会本多医院理事長)
- (3) 「生きるを支える～埼玉県幸手市と杉戸町における実践～」
 中野智紀(東埼玉総合病院地域糖尿病センター長)
- (4) 「PHRを用いた地域包括ケアの取り組み」
 神野正博(董仙会恵寿総合病院理事長)
7. 「チーム医療を支える医師事務作業補助者の生涯教育について考える」
 座長：中村雅彦(松本市立病院副院長)
 和田卓郎(社会福祉法人恩賜財団済生会小樽病院院長)
- (1) 「医師事務作業補助者のキャリアデザインを考慮した重点教育の必要性」
 小林利彦(浜松医科大学医学部附属病院医療福祉支援センターセンター長・教授)
- (2) 「医療秘書・医師事務作業補助者の生涯教育にむけた大学教育の取り組み」
 山本智子(川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント医療秘書学科学科長(教授))
- (3) 「キャリアパスモデルの構築と普及の取り組みから人材育成を考える」
 南木由美(医療法人溪仁会手稲溪仁会病院教育研究センター/NPO法人日本医師事務作業補助研究会副理事長)
8. 「医療福祉連携士制度の10年を振り返って、現状と課題及び将来展望」
 座長：大久保 一郎(横浜市衛生研究所長、医療福祉連携士認定委員会委員長)
 中村起也(広南病院神経内科)
- (1) 基調講演
 「医療介護連携政策の最近の動き」
 眞鍋 馨(厚生労働省老健局老人保健課課長)
- (2) 「制度を運営する立場から」
 大久保 一郎(横浜市衛生研究所長)
- (3) 「医療福祉連携士の視点」
 下村 裕見子(北里大学大学院)
- (4) 「病院管理者からの視点」
 佐藤四三(姫路赤十字病院院長)
- (5) 「福祉関係者からの視点」
 中山美恵(忠岡町健康福祉部地域福祉課)
9. 「クリティカルパスを活用するために」
 座長：野村一俊(医療法人朝日野会朝日野総合病院病院長)
 勝尾信一(一般財団法人新田塚医療福祉センター福井総合病院院長)
- (1) 「病院運営とクリティカルパス-クリティカルパスへの取り組み方、何が変わったか、その効用-」
 藤也寸志(国立病院機構九州がんセンター院長)
- (2) 「看護業務とクリティカルパス」
 野上 さとみ(NTT東日本関東病院看護部長)
- (3) 「質向上への取り組み」
 勝尾信一(一般財団法人新田塚医療福祉センター福井総合病院院長)
- (4) 「クリティカルパス活用の事例」
 杉 和洋(国立病院機構熊本医療センター診療部長)
- (5) 「地域連携とクリティカルパス」
 野村一俊(医療法人朝日野会朝日野総合病院病院長)
10. 「ビッグデータの利活用と課題」
 座長：副島秀久(社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院名誉院長)
 小林美亜(静岡大学創造科学技術大学院特任教授)